

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第1部門第1区分
 【発行日】令和6年10月15日(2024.10.15)

【国際公開番号】WO2022/074133
 【公表番号】特表2023-544745(P2023-544745A)
 【公表日】令和5年10月25日(2023.10.25)
 【年通号数】公開公報(特許)2023-201
 【出願番号】特願2023-520209(P2023-520209)
 【国際特許分類】

10

A 2 4 D 1/20(2020.01)

【F I】

A 2 4 D 1/20

【手続補正書】

【提出日】令和6年10月4日(2024.10.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

エアロゾル発生物品であって、

エアロゾル発生基体と、

前記エアロゾル発生基体の下流端から前記エアロゾル発生物品の下流端まで延在する下流セクションと、を備え、

前記下流セクションが、前記下流セクション中に通気を提供するための第一の通気ゾーンを備え、

前記第一の通気ゾーンが下流端から上流端に延在し、前記上流端が前記エアロゾル発生基体の下流端から5ミリメートル未満であり、

30

前記下流セクションの引き出し抵抗が、10mmH₂O未満であり、

前記第一の通気ゾーンが、少なくとも20パーセントの通気を有する下流セクションの多孔質部分を含む、エアロゾル発生物品。

【請求項2】

前記下流セクションの少なくとも一部分を囲むラッパーをさらに備え、前記第一の通気ゾーンが前記ラッパーの多孔質部分を備える、請求項1に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項3】

前記ラッパーが紙ラッパーであり、前記第一の通気ゾーンが多孔質紙の一部分を含む、請求項2に記載のエアロゾル発生物品。

40

【請求項4】

前記第一の通気ゾーンを形成する前記ラッパーの多孔質部分が、前記第一の通気ゾーンの一部分を形成しない前記ラッパーの一部分の坪量よりも低い坪量を有する、請求項2または3に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項5】

前記第一の通気ゾーンの下流端が、前記エアロゾル発生基体の下流端から3ミリメートル未満である、請求項1～4のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。

【請求項6】

前記第一の通気ゾーンの上流端が、前記エアロゾル発生基体の下流端から1ミリメートル未満である、請求項1～5のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。

50

【請求項 7】

前記第一の通気ゾーンが、少なくとも 2 ミリメートルの長さを有する、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 8】

前記下流セクションが、前記エアロゾル発生基体の前記下流端から前記下流セクションの前記下流端まで遮られない気流経路を備える、請求項 1 ~ 7 のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 9】

前記下流セクションが少なくとも 15 ミリメートルの長さを有する、請求項 1 ~ 8 のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。

10

【請求項 10】

前記第一の通気ゾーンの前記下流端が、前記エアロゾル発生物品の前記下流端から少なくとも 10 ミリメートルである、請求項 1 ~ 9 のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 11】

前記第一の通気ゾーンの前記上流端が、前記エアロゾル発生基体の前記下流端から前記下流セクションの長さに沿って 15 パーセント未満に位置する、請求項 1 ~ 10 のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 12】

前記下流セクションが、中空の管状要素を備える、請求項 1 ~ 11 のいずれかに記載のエアロゾル発生物品。

20

【請求項 13】

前記中空の管状要素が、前記エアロゾル発生基体の前記下流端から離間し、前記中空の管状要素が多孔質紙ラッパーの一部によって前記エアロゾル発生基体に接続される、請求項 12 に記載のエアロゾル発生物品。

【請求項 14】

エアロゾル発生システムであって、
ヒーターを備えるエアロゾル発生装置と、
請求項 1 ~ 13 のいずれかに記載のエアロゾル発生物品と、を備える、エアロゾル発生システム。

30

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

従来の紙巻たばこは、ユーザーが紙巻たばこの一方の端に炎を当て、もう一方の端を通して空気を引き出す時に点火される。炎と、紙巻タバコを通して引き出された空気中の酸素とによってもたらされた局在化した熱は、紙巻タバコの端を点火させ、その結果生じる燃焼は吸入可能な煙を発生する。これに反して、加熱式エアロゾル発生物品において、エアロゾルは風味発生基体（タバコなど）を加熱することによって発生される。公知の加熱式エアロゾル発生物品としては、例えば電気加熱式エアロゾル発生物品と、可燃性燃料要素または熱源から、物理的に分離されたエアロゾル形成材料への熱伝達によってエアロゾルが発生するエアロゾル発生物品とが挙げられる。例えば、本発明によるエアロゾル発生物品は、エアロゾル発生基体のロッドの中に挿入されるように適合されている内部ヒーターブレードを有する電気加熱式のエアロゾル発生装置を備えるエアロゾル発生システムにおいて特定の用途がある。このタイプのエアロゾル発生物品は、先行技術、例えば E P O 8 2 2 7 6 0 に記載されている。

40

50